



# 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月10日

上場会社名 株式会社バルク (コード番号：2467 名証セントレックス)  
 (URL <http://www.vlcank.com/>)  
 問い合わせ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 村松 澄夫  
 責任者役職・氏名 執行役員管理部長 柏山 一郎 TEL (03)5649-2500

## 1. 四半期連結財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 法人税等の処理及び引当金の計上基準に一部簡便な方法を採用しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 平成17年3月期比 連結(新規)1社

## 2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 連結経営成績の進捗状況 (単位: 百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		第3四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	872	( )	22	( )	8	( )	4	( )
(参考)17年3月期	1,030		159		154		95	

	1株当たり第3四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	802	12	-	-
(参考)17年3月期	21,790	21	-	-

(注)1. 期中平均株式数(連結) 18年3月期第3四半期 5,082株 17年3月期 4,377株

2. 平成17年3月期第3四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

### 【連結経営成績の進捗状況に関する定性的情報等】

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善、民間設備投資の増加などにより、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で原油価格の高騰等により先行きは楽観できない状況にあります。

このような状況の下、当社グループはこれまでのノウハウを活かして一層の事業展開に取り組むとともに業績の向上に努めてまいりました。この結果、当第3四半期の連結売上高は872百万円となりました。利益面につきましては、インターネットリサーチシステム開発費用、子会社設立関連費用、上場関連費用などの計上により連結営業利益は22百万円、連結経常利益は8百万円、連結当期純利益は4百万円となりました。

PBISM事業におきましては、平成17年4月の個人情報保護法全面施行を受けてコンプライアンス経営、リスクマネジメント経営が社会的に求められる環境の下、プライバシーマーク認定取得支援、ISO27001(ISMS)認証取得支援の受注が堅調に推移いたしました。この結果、PBISM事業の売上高は429百万円となりました。

マーケティングリサーチ事業におきましては、多様化する顧客ニーズに応えるべく、様々なマーケティングリサーチ手法を開発し、オーダーメイドリサーチの受注に注力するとともに、簡易な調査手法であるクイックリサーチ「SPR10」の提供も積極的に行ってまいりました。この結果、マーケティングリサーチ事業の売上高は442百万円となりました。

## (2) 連結財政状態の変動状況

(単位:百万円未満切捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	1,197	1,050	87.8	151,004 39
(参考)17年3月期	632	440	69.7	96,613 40

- (注)1. 期末発行済株式数(連結) 18年3月期第3四半期 6,960株 17年3月期 4,560株  
 2. 期末自己株式数 18年3月期第3四半期 -株 17年3月期 -株  
 3. 平成17年3月期第3四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	43	41	598	816
(参考)17年3月期	97	42	190	303

## 【連結財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

## 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期末の総資産は現金預金の増加や有価証券の取得等により、前連結会計年度末(平成17年3月31日)に比べ565百万円増加し、1,197百万円となりました。負債に関しましては、賞与引当金およびモニタポイント引当金の繰入額が増加したものの、借入金等が減少したため、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しております。これらの結果、株主資本は前連結会計年度末から610百万円増加して1,050百万円となり、株主資本比率は87.8%と前連結会計年度末から18%上昇いたしました。

## キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ513百万円増加し、816百万円となっております。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期における営業活動の結果、使用した資金は43百万円となりました。これは主に法人税等の支払によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期における投資活動の結果、使用した資金は41百万円となりました。これは主に関連会社株式の取得費用及びインターネットリサーチシステムの2次開発費用によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期における財務活動の結果、獲得した資金は598百万円となりました。これは主に公募増資における株式発行収入によるものです。

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

(単位:百万円未満切捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	1,400	230	115

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 16,551円01銭

1株当たり予想当期純利益(通期)は、当第3四半期末の発行済株式数6,960株により算出しております。

## 【業績予想に関する定性的情報等】

当期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の業績予想につきましては、平成17年12月14日に公表いたしました「平成18年3月期 中間決算短信(連結)」に記載の業績予想から変更ありません。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる結果となる可能性があります。

添付資料:(要約)第3四半期連結貸借対照表、(要約)第3四半期連結損益計算書  
 (要約)第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

## 〔添付資料〕

## 1. (要約) 第3四半期連結貸借対照表

区 分	期 別		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成17年3月31日)	
	当第3四半期連結会計期間末 (平成17年12月31日)		金 額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金預金	816,836		303,307	
受取手形及び売掛金	227,968		227,417	
棚卸資産	4,410		4,831	
その他	23,599		7,819	
流動資産合計	1,072,815	89.6	543,374	86.0
固定資産				
有形固定資産				
建物付属設備	2,993		2,471	
工具器具備品	3,618		4,916	
有形固定資産合計	6,612	0.5	7,387	1.2
無形固定資産				
ソフトウェア	42,489		23,041	
ソフトウェア仮勘定	1,260		-	
連結調整勘定	12,826		13,478	
その他	398		398	
無形固定資産合計	56,974	4.8	36,918	5.8
投資その他の資産				
投資有価証券	14,000		-	
敷金・保証金	34,034		35,704	
その他	13,008		8,715	
投資その他の資産合計	61,042	5.1	44,420	7.0
固定資産合計	124,629	10.4	88,726	14.0
資産合計	1,197,444	100.0	632,101	100.0
(負債の部)				
流動負債				
支払手形及び買掛金	23,206		23,022	
短期借入金	5,835		-	
一年内返済予定長期借入金	-		7,644	
未払金	9,546		13,324	
預り金	7,943		9,341	
未払法人税等	13,530		61,826	
新株引受権	-		1,300	
賞与引当金	13,446		1,118	
モニタポイント引当金	8,408		-	
その他	37,906		37,968	
流動負債合計	119,823	10.0	155,545	24.6
固定負債				
長期借入金	-		15,509	
退職給付引当金	2,958		3,409	
役員退職慰労引当金	23,672		17,080	
固定負債合計	26,630	2.2	35,998	5.7
負債合計	146,453	12.2	191,544	30.3
(少数株主持分)				
少数株主持分	-	-	-	-
(資本の部)				
資本金	514,451		243,751	38.5
資本剰余金	459,310		112,950	17.9
利益剰余金	77,229		83,855	13.3
資本合計	1,050,990	87.8	440,557	69.7
負債、少数株主持分及び資本合計	1,197,444	100.0	632,101	100.0

## 2. (要約) 第3四半期連結損益計算書

区 分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	
	金額(千円)	百分比(%)	金額(千円)	百分比(%)
売上高	872,143	100.0	1,030,805	100.0
売上原価	434,240	49.8	536,688	52.0
売上総利益	437,903	50.2	494,117	48.0
販売費及び一般管理費	414,977	47.6	334,842	32.5
営業利益	22,925	2.6	159,274	15.5
営業外収益	132	0.0	2,042	0.2
営業外費用	14,649	1.6	7,034	0.7
経常利益	8,409	1.0	154,282	15.0
特別損失	-	-	13,300	1.3
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	8,409	1.0	140,982	13.7
法人税、住民税及び事業税	19,840	2.3	60,253	5.8
法人税等調整額	7,354	0.8	14,639	1.4
第3四半期純損失( )又は当期純利益	4,076	0.5	95,368	9.3

### 3. (要約) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	期 別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
		金 額 (千円)	金 額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第3四半期(当期)純利益		8,409	140,982
減価償却費		7,930	5,375
連結調整勘定償却額		652	869
モニタポイント引当金の増減額(減少: )		8,408	-
退職給付引当金の増減額(減少: )		450	1,118
賞与引当金の増減額(減少: )		12,328	1,118
貸倒引当金の増減額(減少: )		-	700
役員退職慰労引当金の増減額(減少: )		6,592	17,080
受取利息及び受取配当金		1	9
支払利息		137	547
売上債権の増減額(増加: )		550	118,999
たな卸資産の増減額(増加: )		420	1,969
仕入債務の増減額(減少: )		3,593	13,039
未払消費税等の増減額(減少: )		11,151	19,067
その他		2,135	18,266
役員賞与の支払額		2,550	-
小 計		28,716	101,126
利息及び配当金の受取額		1	9
利息の支払額		137	547
法人税等の支払額		72,317	2,975
営業活動によるキャッシュ・フロー		43,736	97,612
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		1,366	4,288
無形固定資産の取得による支出		25,900	9,361
投資有価証券の取得による支出		14,000	-
敷金・保証金の増加による支出		-	28,454
敷金・保証金の返還による収入		1,120	-
その他		1,028	301
投資活動によるキャッシュ・フロー		41,175	42,406
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少: )		3,831	12,500
長期借入金の返済による支出		21,149	7,644
株式発行による収入		615,760	210,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		598,442	190,356
現金及び現金同等物の増減額(減少: )		513,529	245,561
現金及び現金同等物の期首残高		303,307	57,745
現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高		816,836	303,307

#### 4. セグメント情報

##### 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成17年4月1日至平成17年12月31日)

	PBISM事業 (千円)	マーケティング リサーチ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	429,596	442,547	872,143	-	872,143
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	429,596	442,547	872,143	-	872,143
営業費用	316,656	391,219	707,876	141,341	849,218
営業利益	112,939	51,327	164,267	141,341	22,925

(注)1. 事業区分の方法

事業は役務の種類及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な役務

PBISM事業・・・プライバシーマーク認定取得コンサルティング、ISO27001(ISMS)認証取得コンサルティング  
マーケティングリサーチ事業・・・各種マーケティングリサーチ、ユーザーニーズ調査

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は141,341千円であり、その主なものは当社の管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度(自平成16年4月1日至平成17年3月31日)

	PBISM事業 (千円)	マーケティング リサーチ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	487,026	543,779	1,030,805	-	1,030,805
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	487,026	543,779	1,030,805	-	1,030,805
営業費用	261,426	523,983	785,409	86,121	871,530
営業利益	225,600	19,795	245,395	86,121	159,274

(注)1. 事業区分の方法

事業は役務の種類及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な役務

PBISM事業・・・プライバシーマーク認定取得コンサルティング、ISO27001(ISMS)認証取得コンサルティング  
マーケティングリサーチ事業・・・各種マーケティングリサーチ、ユーザーニーズ調査

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は86,121千円であり、その主なものは当社の管理部門に係る費用であります。